

【専門科目領域/専門科目群/看護の基本】

科目名	ナンバリング	区分(必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
看護学概論		必修	2	1	前期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
坂本 文子	418	fumiko.sakamoto	月曜日-金曜日 12:10-13:00		
授業の目的・概要	看護学概論は、看護基礎教育で教授する看護学体系の最も基礎となる科目であり、全ての看護対象者、全ての看護機能の原論である。このような特質をふまえ学習する。具体的には看護目的論・看護対象論・看護方法論の看護学の歴史的発展過程・看護理論や看護教育研究の発展過程の概説を学ぶ。看護学概論は、初学者の初期段階で学習するため、学生自ら主体的に学習することを認識し、今後の看護学学習の基本的態度を養う。学生は看護学概論を学習することにより、看護学体系を理解するとともに、看護専門職者としての社会的・職業的自律の基盤を修得する。				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> PBL <input checked="" type="checkbox"/> 反転授業 <input type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習) <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク その他 ()				
学習上の助言	・この授業では、看護の目的論・対象論・方法論とそのつながりを学び、看護実践に必要な基本的知識と思考過程を知り、これから看護を学ぶ学生として看護とは何か、看護の対象をどのように見るかについて、自分の考えを持つことができることを目指す。 ・事前・事後課題に取り組み、不明点は質問するなど、疑問を解決しながら学びを積み上げてほしい。				
教科書	・系統看護講座 専門分野 I 基礎看護学 I 看護学概論/著：茂野香おる/医学書院、2019 ・看護覚え書き 本当の看護とそうでない看護/著：F.ナイチンゲール/日本看護協会出版会、2019 ・看護の基本となるもの/著：V.ヘンダーソン/日本看護協会出版会、2016				
参考書	・適宜紹介する				
外部教材	・必要時紹介する。				
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針		
①	看護とは何か、ナイチンゲール・ヘンダーソンの考えに基づいて説明できる。	HSU (1) NS (1) ～5)			
②	看護の対象について、ナイチンゲール・ヘンダーソンの考えに基づいて説明できる。	HSU (1) NS (1) ～5)			
③	看護の目的論・対象論・方法論とそのつながりについて説明できる。	HSU (1) NS (1) ～5)			
④	看護専門職に求められるものを説明できる。	HSU (1) NS (1) ～5)			
⑤	本科目の学びから考えた『看護とは何か』について記述できる。	HSU (1) NS (1) ～5)			
⑥	看護を学ぶ学生としての自己の学修課題を記述できる。	HSU (1) NS (1) ～5)			
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間(時間)		
1	看護とは、看護の定義	講義	予習:看護職を目指す動機を記述する。 復習:学びをまとめる。	4	
2	看護の役割機能	講義	予習:指定の資料を読む。 復習:学びをまとめる。	4	
3	看護の対象の理解	講義	予習:指定の資料を読む。 復習:学びをまとめる。	4	
4	健康と生活①	講義	予習:指定の資料を読む。 復習:学びをまとめる。	4	
5	健康と生活②	講義	予習:指定の資料を読む。 復習:学びをまとめる。	4	
6	看護職養成制度(基礎教育・継続教育)	講義	予習:指定の資料を読む。 復習:学びをまとめる。	4	
7	看護における倫理	講義	予習:指定の資料を読む。 復習:学びをまとめる。	4	
8	看護における制度と政策	講義	予習:指定の資料を読む。 復習:学びをまとめる。	4	
9	看護専門職の発展過程とキャリア形成	講義	予習:指定の資料を読む。 復習:学びをまとめる。	4	
10	ナイチンゲール看護覚え書きを読み解く①	グループワーク	予習:入学前課題を振り返る。 復習:学びをまとめる。	4	

【専門科目領域/専門科目群/看護の基本】

11	ナイチンゲール看護覚え書きを読み解く②	グループワーク 発表	予習:グループワークの準備をする。 復習:学びをまとめる。	4				
12	ナイチンゲール看護覚え書きを読み解く③	グループワーク 発表	予習:グループワークの準備をする。 復習:学びをまとめる。	4				
13	ヘンダーソン看護論を読み解く①	グループワーク 発表	予習:指定の資料を読む。 復習:学びをまとめる。	4				
14	ヘンダーソン看護論を読み解く②	グループワーク 発表	予習:グループワークの準備をする。 復習:学びをまとめる。	4				
15	看護を学ぶ学生としての自己の課題	グループワーク 発表	予習:課題をまとめる。 復習:課題レポートをまとめる。	4				
試	定期試験							
達成度評価								
総合評価割合(%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計	
		60	30	0	0	10	100	
総合力指標	知識・技術力	40	0	0	0	0	40	
	思考・推論・創造する力	20	20	0	0	0	40	
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0	
	発表・表現伝達する力	0	10	0	0	0	10	
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0	
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	10	10	
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	0	0	
評価のポイント						フィードバックの方法		
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点						
試験	①	✓	試験期間中に定期試験を実施して、授業中に講義した内容の理解度を評価する。試験による評価割合は60%とし、レポートの30%、その他10%を加え、100%とする。				最終的に試験の解答を行い知識の確認を行う。	
	②	✓						
	③	✓						
	④	✓						
	⑤	✓						
	⑥	✓						
レポート	①	✓	授業時に複数回レポート課題を提示する。評価割合は30%とし、定期試験70%に加算し100%とする。				内容を点検し、評価し、コメントを記して返却する。	
	②	✓						
	③	✓						
	④	✓						
	⑤	✓						
	⑥	✓						
その他	①	✓	授業やグループワーク、レポート課題への取り組みを評価する。評価割合は10%とする。				提出物の遅れや消極的な態度が見えた時は、指摘し、理由を確認する。	
	②	✓						
	③	✓						
	④	✓						
	⑤	✓						
	⑥	✓						
備 考								
他担当教員	なし。							
教員の実務経験	看護師として15年の実務経験、看護教員として18年の実務経験。							
実践的授業の内容	看護専門職の実体験に触れたり、映像資料や文献を用いたりすることで、対象や看護のあり様など、看護場面をイメージできるように工夫する。 担当教員のこれまでの実務経験、教育・研究活動をもとに、事例を交えて授業を進める							
その他	学習状況によりスケジュールを変更することがあります。変更する場合は Teams や授業内でお知らせします。 今後の社会情勢によって再度シラバスの変更があり得ます。							